

2016年11月期 中間決算発表

2016年 7月6日

NACHI 株式会社 不二越

長期ビジョンの実現に向けて

2016年上期実績と通期計画

総括

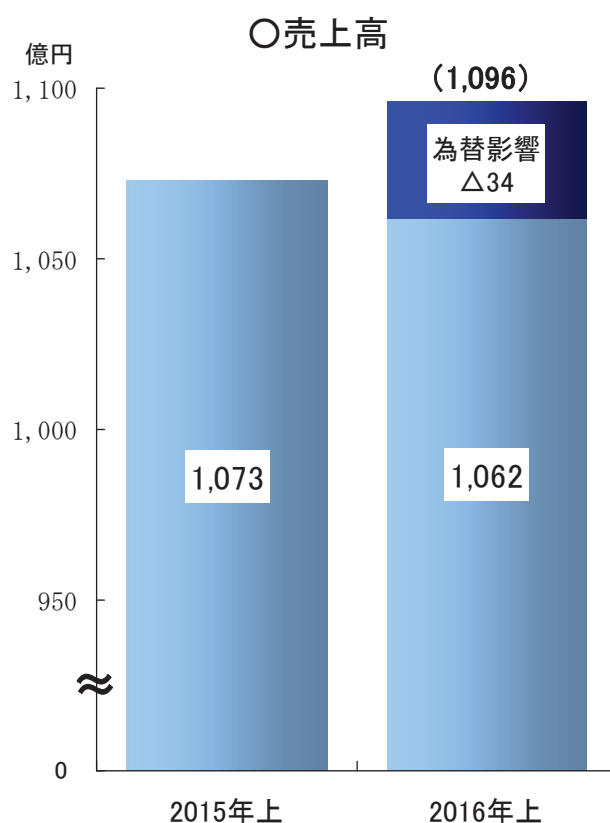
(単位:億円)

	2015年度		2016年度	
	上期実績	通期実績	上期実績	通期計画
(伸び率)			($\Delta 1.1\%$)	($\Delta 3.0\%$)
売上高	1,073	2,185	1,062	2,120
営業利益(率)	(9.0%) 96	(8.7%) 189	($\Delta 33.4\%$) (6.1%) 64	($\Delta 31.4\%$) (6.1%) 130
経常利益(率)	(8.4%) 90	(7.9%) 173	($\Delta 51.6\%$) (4.1%) 43	($\Delta 45.1\%$) (4.5%) 95
当期純利益	57	115	($\Delta 52.5\%$) 27	($\Delta 48.2\%$) 60
米ドル	119円	120円	114円	109円
ユーロ	135円	135円	126円	121円

2

売上高の増減

総括

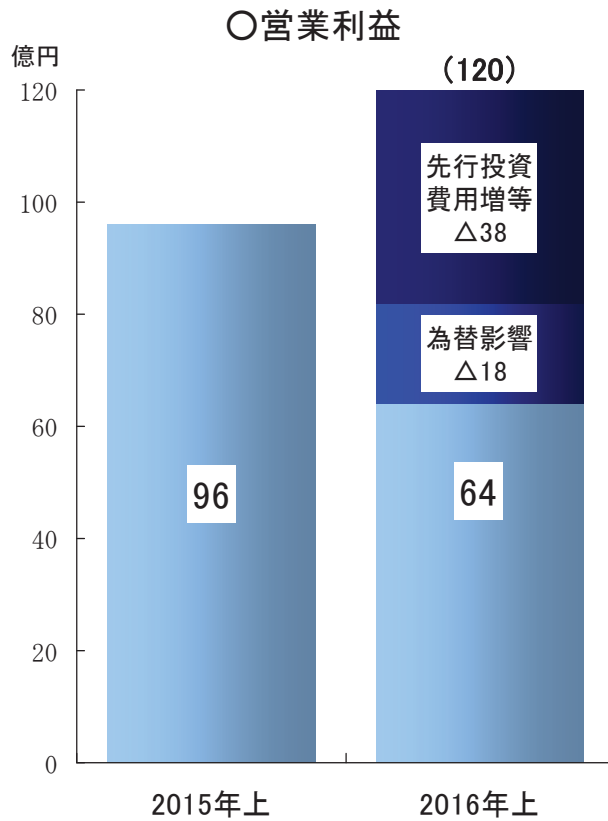


	15上 実績 A	16上 実績 B	16上 実績 実質C	増減率 % B/A	実質 % C/A
国内	582	562	562	$\Delta 3.4$	$\Delta 3.4$
海外	491	499	534	+1.7	+8.7
米州	147	154	165	+4.3	+11.6
欧州	55	61	65	+10.8	+17.2
アジア	287	283	303	$\Delta 1.4$	+5.6
(中国)	(123)	(126)	(136)	+1.7	+10.0

3

営業利益の増減

総括



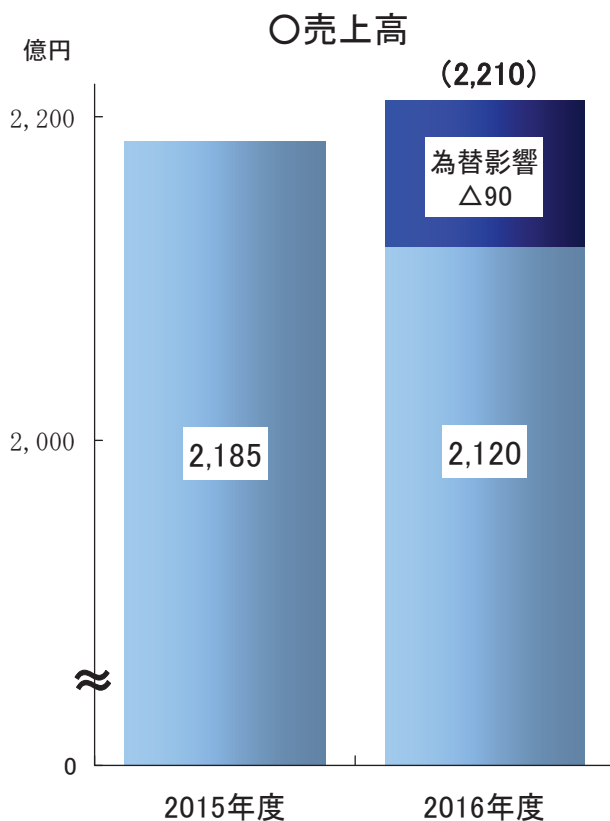
＜先行投資の主な内容＞

中長期的な成長に向けて
4M(人・設備等)を拡充

- ・人員の拡充 +385人
 - 営業・ENG +165人
 - 開発・管理 +120人
 - 生産 +100人
- ・設備投資額 131億円

2016年通期計画の見方

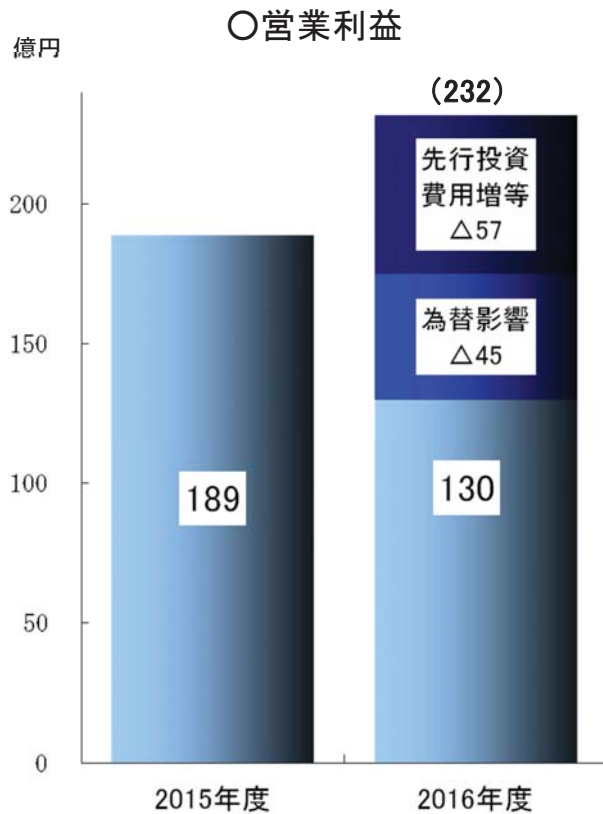
総括



	15年実績 A	16年計画 B	16年計画実質 C	増減率 % B/A	実質 % C/A
国内	1,159	1,130	1,130	△2.5	△2.5
海外	1,026	990	1,080	△3.5	+5.2
米州	323	315	340	△2.7	+5.0
欧州	110	115	125	+4.3	+13.4
アジア	592	560	615	△5.5	+3.8
(中国)	(258)	(260)	(295)	+0.6	+14.2

2016年通期計画の見方

総括



<先行投資の主な内容>

- ・人員の拡充 +500人
 - 営業・ENG +250人
 - 開発・管理 +150人
 - 生産 +100人
- ・設備投資額 230億円

6

足下の状況・需要環境の変化

総括

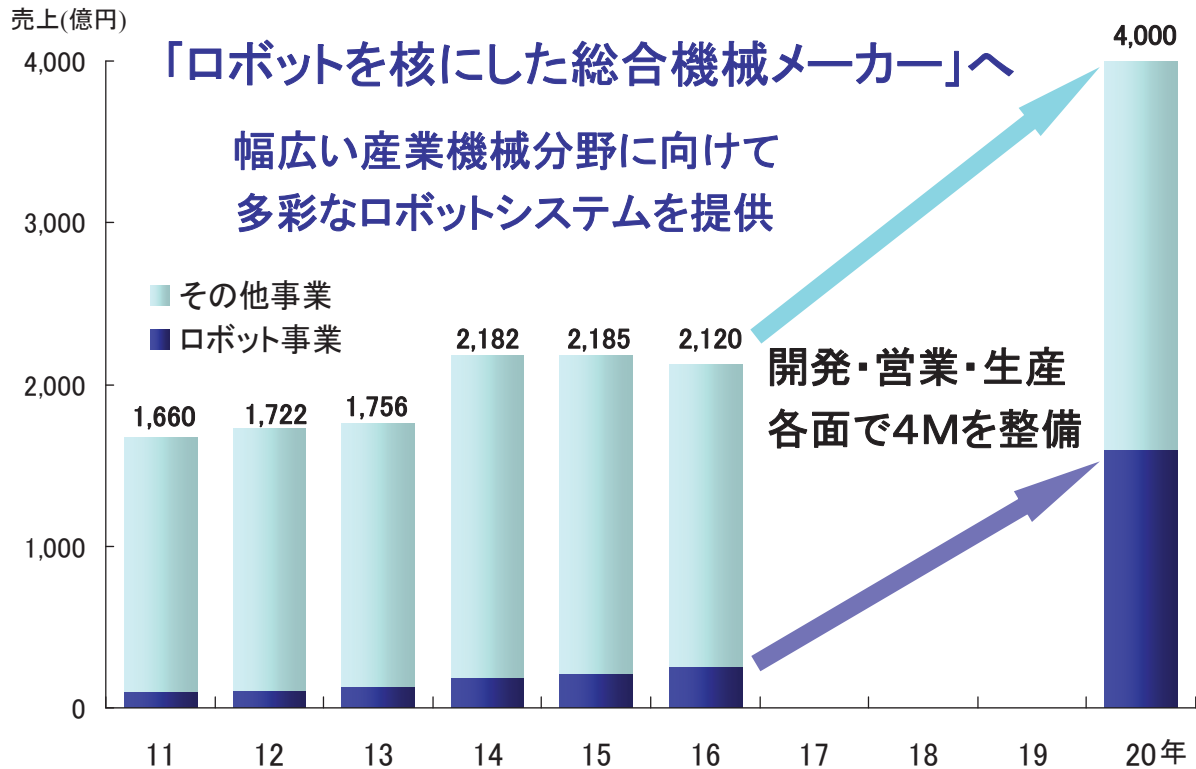
<足下の状況>

- ・国内：自動車生産・販売の減少
工作機械・建設機械は低調
- ・海外：成長鈍化も需要堅調
中国など新興国 → 高機能化・近代化

<需要環境の変化>

- ・自動車：EV・FCV化(脱エンジン車)が加速
→ 部品や工具等の需要は漸減傾向
- ・少子高齢化・労働人口の減少
→ IoT、AI等を活かした生産性向上
→ ものづくりの自動化・システム化が進展

7



「ロボット単体」から「ロボット含めたシステム」を提供

産業機械分野の様々なお客様の自動化構想を実現



- 主な機能
- ・ショールーム
 - ・デモ・テストエリア
 - ・ロボットスクール



ロボットFA展示場(富山本社)
2015年10月オープン

ロボットテクニカルセンターの世界展開

総括



○上海テクニカルセンター
中国最大の展示場に設置
2016年11月オープン



● 青島
● 上海
● 台北
● 広州

○海外10ヶ所にテクニカルセンターを新設へ
(デトロイト、アトランタ、サンノゼ、メキシコ、ドイツ、タイ)

ロボット事業の体制強化

総括



中国生産の拡大



富山の開発・生産体制強化

● 生産拠点



タイ・ラヨーン



アメリカ・インディアナ

ロボット事業	～2016年	2017年
人員増 (対15年比)	+300人	+500人超
設備投資	70億円	130億円

2016年度 中間決算の概要

12

2016年度 中間決算の概要

16年 中間

(単位: 億円)

	2015年度 上期(A)	2016年度 上期(B)	増 減 (%) (B) - (A)
売上高	1,073	1,062	(△1.1%) △11
営業利益	(9.0%) 96	(6.1%) 64	(△33.4%) △32
経常利益	(8.4%) 90	(4.1%) 43	(△51.6%) △46
当期純利益	57	27	(△52.5%) △29

13

財務データ

16年 中間

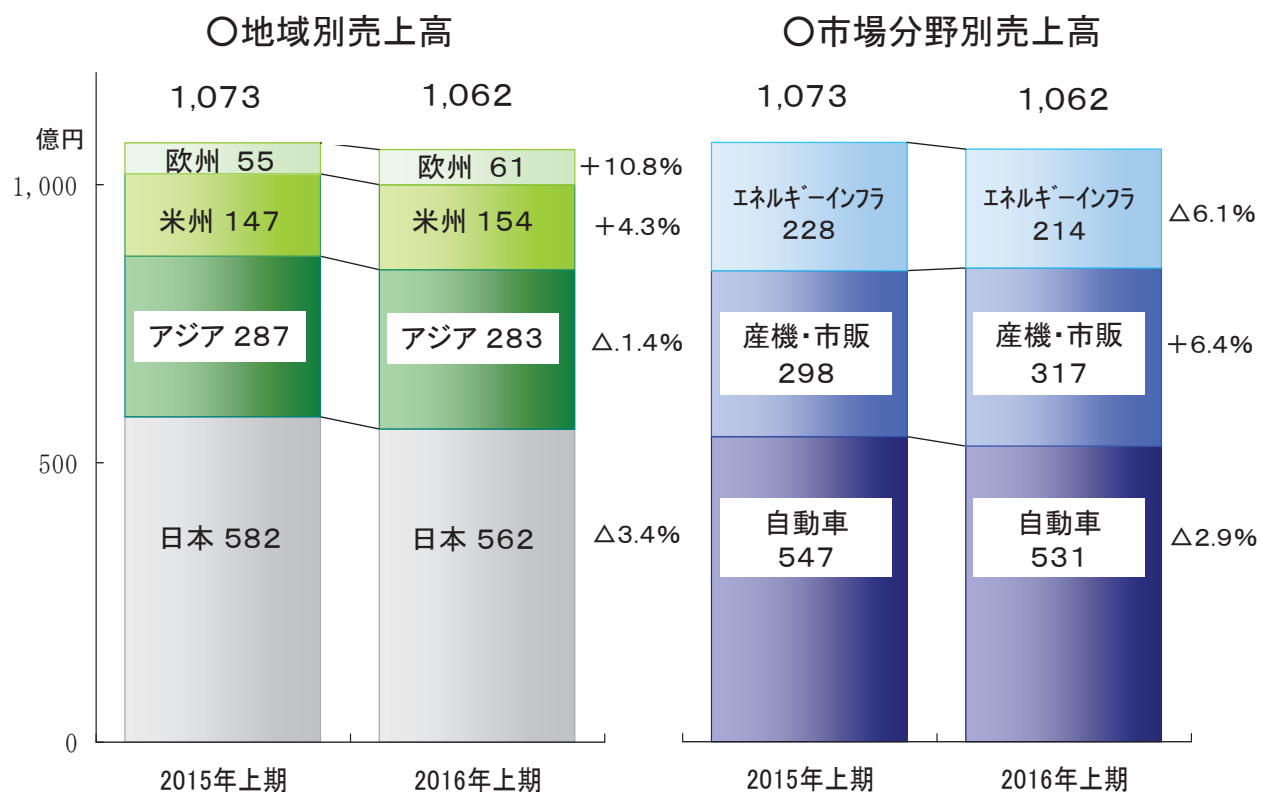
(単位: 億円)

	2015年度 上期(A)	2016年度 上期(B)	増減 (B) - (A)
ROE	11.9%	5.4%	△6.5ポイント
総資産	2,684	2,669	△14
自己資本 (自己資本比率)	(37.1%) 996	(36.1%) 963	△33
有利子負債 (netD/Elシオ)	(0.5倍) 715	(0.6倍) 819	+104
設備投資	106	131	+25
減価償却費	62	66	+3
人 員	6,409	6,794	+385
為替レート (USドル)	119円	114円	5円の円高
(ユーロ)	135円	126円	9円の円高

14

地域別・市場分野別 売上高

16年 中間



15

事業セグメント別 売上高・営業利益

16年 中間

(単位:億円)

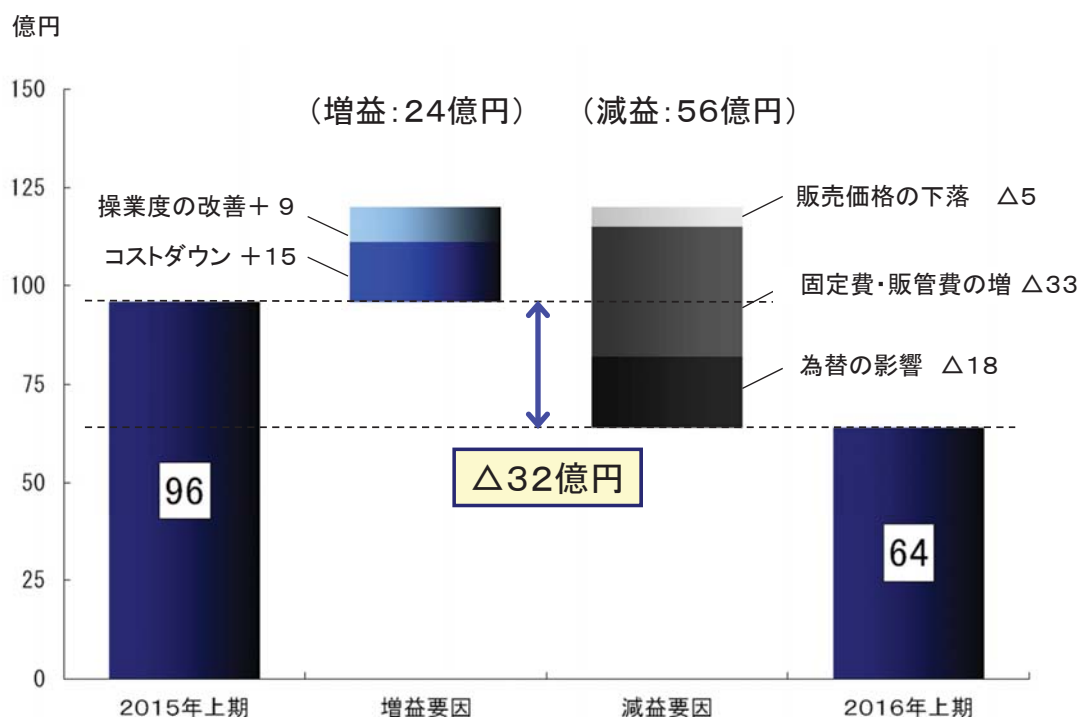
	2015年度 上期 (A)	2016年度 上期	※2016年度 上期実質(B)	(%) (B)－(A)
機械工具事業				
売上高	360	381	390	(+8.4%) +30
営業利益	(11.0%) 39	(7.4%) 28	(8.8%) 34	(△12.1%) △4
部品事業				
売上高	626	609	634	(+1.2%) +7
営業利益	(7.6%) 47	(5.1%) 31	(6.5%) 41	(△13.7%) △6
その他事業				
売上高	86	70	71	(△17.5%) △15
営業利益	(11.1%) 9	(7.0%) 4	(8.5%) 6	(△37.1%) △3
売上高合計	1,073	1,062	1,096	(+2.1%) +22
営業利益合計	(9.0%) 96	(6.1%) 64	(7.5%) 82	(△15.3%) △14

※ 2016年度：為替の影響を除く

16

営業利益の増減要因

16年 中間



17

2016年度 計画の概要

18

2016年度 計画

16年 計画

(単位: 億円)

	2015年度 実績(A)	2016年度 計画 (B)	増 減 (%) (B) - (A)
売上高	2,185	2,120	(△3.0%) △65
営業利益	(8.7%) 189	(6.1%) 130	(△31.4%) △59
経常利益	(7.9%) 173	(4.5%) 95	(△45.1%) △78
当期純利益	115	60	(△48.2%) △55

19

(単位: 億円)

	2015年度 実績(A)	2016年度 計画(B)	増減 (B) - (A)
ROE	11.9%	5.9%	△6.0ポイント
総資産	2,681	2,650	△31
自己資本 (自己資本比率)	(38.3%) 1,025	(37.6%) 997	△28
有利子負債 (netD/Elシオ)	(0.5倍) 728	(0.6倍) 830	+101
設備投資	232	230	△2
減価償却費	129	137	+7
人 員	6,557	7,000	+443
為替レート (USドル)	120円	109円	11円の円高
(ユーロ)	135円	121円	14円の円高

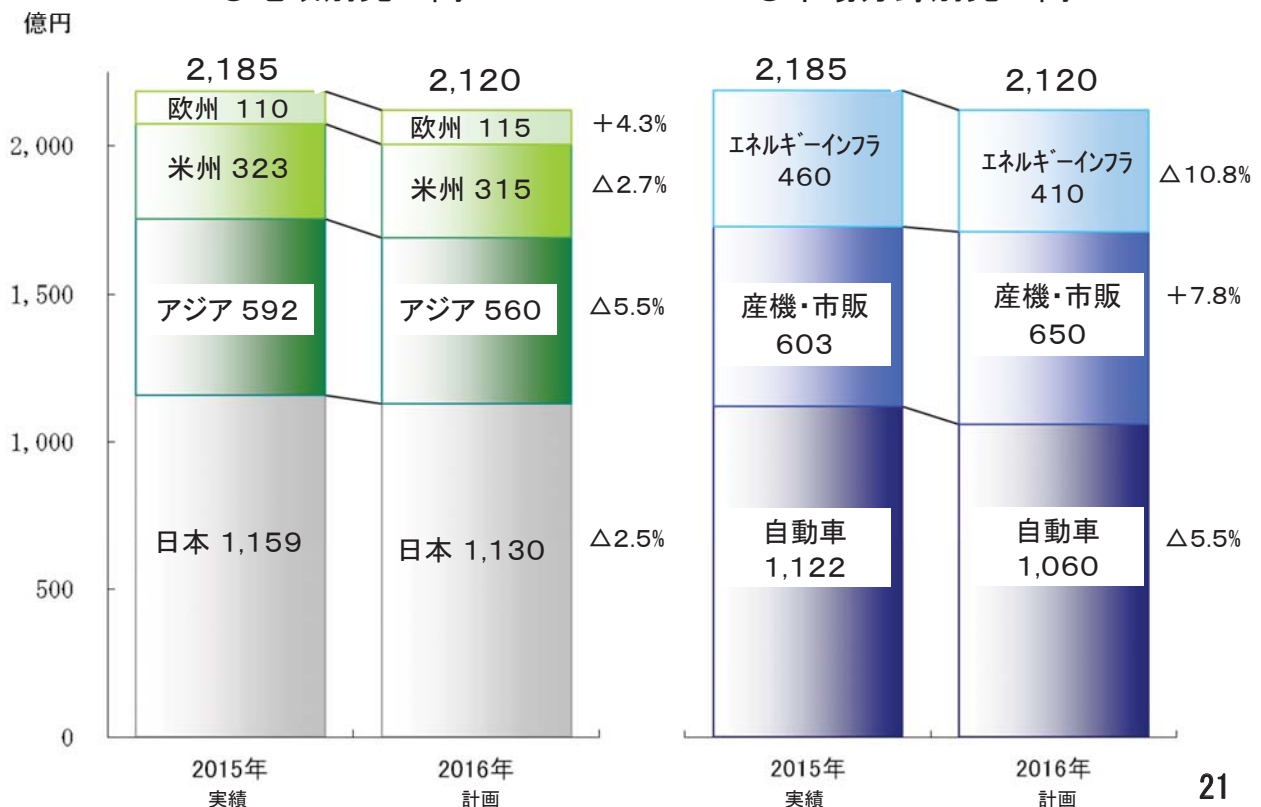
20

地域別・市場分野別 売上高

16年計画

○地域別売上高

○市場分野別売上高



21

事業セグメント別 売上高・営業利益

16年計画

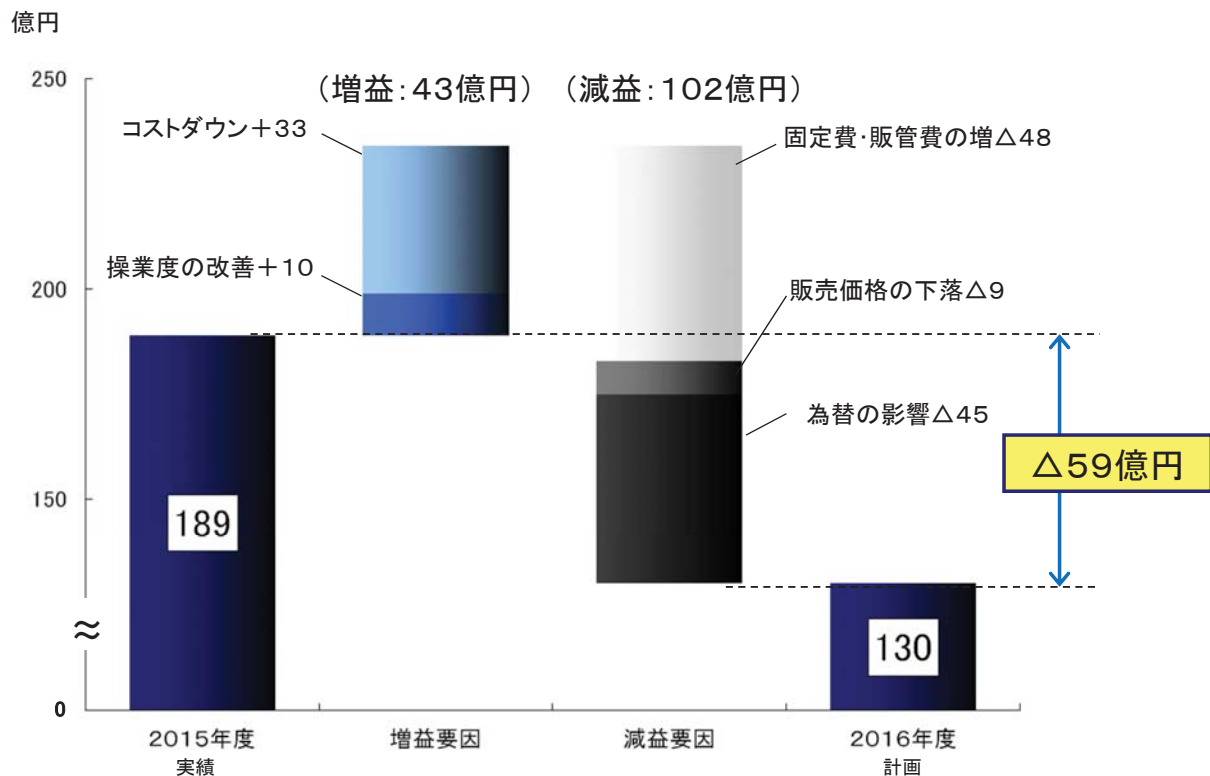
(単位:億円)

	2015年度 実績 (A)	2016年度 計画 (B)	増 減 (%)	増 減 (B)-(A)
機械工具事業				
売上高	754	785	(+4.0%)	+31
営業利益	(11.3%) 85	(8.3%) 65	(△23.6%)	△20
部品事業				
売上高	1,264	1,190	(△5.9%)	△74
営業利益	(6.9%) 87	(4.7%) 56	(△36.0%)	△31
その他事業				
売上高	165	145	(△12.4%)	△20
営業利益	(10.3%) 17	(6.2%) 9	(△47.1%)	△8
売上高合計	2,185	2,120	(△3.0%)	△65
営業利益合計	(8.7%) 189	(6.1%) 130	(△31.4%)	△59

22

営業利益の増減要因

16年計画



23

NACHI

<http://www.nachi-fujikoshi.co.jp/>

本資料には、将来の業績見通し、事業計画等を記載しておりますが、現時点での経済環境や事業方針など一定の前提にもとづいて作成しております。
従いまして、実際の業績は、需要変動や為替変動などの様々な要素により、業績見通しとは異なる結果となりうることをご承知おき下さい。